



URWB テレメトリプロトコルの設定

- [URWB テレメトリプロトコルの設定 \(1 ページ\)](#)

URWB テレメトリプロトコルの設定

UIW リリース 17.12.1 より URWB テレメトリプロトコルが導入され、リアルタイムのワイヤレス性能のカスタム外部監視が可能になります。サードパーティアプリケーションおよびカスタムアプリケーションでこのデータを使用できます。定期的に送信される定義済みの構造化 UDP パケットには、さまざまなネットワークメトリックが含まれています。

各アクセスポイントは、その無線機のデータをエクスポートします。このデータは、受信アプリケーションによってライブで解釈することも、キャプチャして後で処理することもできます。

プロトコル形式の詳細については、[シスコサポート](#)に連絡して、URWB テレメトリプロトコルの参照ドキュメントをリクエストしてください。

テレメトリ UDP パケットには、次の情報が含まれています。

- パケットの信号強度
- パケットのスループットと移行レート
- 送信および再送信の数
- 変調レート
- パケット損失の詳細
- 各無線機の動作周波数
- ネットワークを記録するイベントに関する情報

CLI を使用した URWB テレメトリプロトコルの設定

デフォルトでは、テレメトリデータは無効になっています。テレメトリパケットを生成するには、次の CLI コマンドを使用します。

受信者の IP アドレスと UDP ポートを設定するには、次の CLI コマンドを使用します（マルチキャストアドレスがサポートされています）。

```
Device# configure telemetry server <dest IP [port]>
```

設定された受信者への URWB テレメトリプロトコル送信を有効または無効にするには、次の CLI コマンドを使用します（マルチキャストアドレスがサポートされています）。

```
Device# configure telemetry server <dest IP [port]>
```

設定されたサーバーへの raw UDP テレメトリ送信を有効または無効にするには、次の CLI コマンドを使用します。

```
Device# configure telemetry export [ enable | disable ]
```

例：

```
Device# configure telemetry export enable
Device# configure telemetry server 10.115.11.56 1234
Device# write
Device# reload
```



- (注)
- **export enable** CLI コマンドを実行する前に、IP アドレスが設定されていることを確認します。設定されていない場合、コマンドは「please configure the telemetry server IP first」というエラーで拒否されます。
 - **export disable** CLI コマンドを実行すると、IP サーバーは同時に 0.0.0.0 に設定されます（ポート値は変更されません）。

テレメトリ設定を確認するには、次の show コマンドを使用します。

```
Device# show telemetry config
Telemetry export: enabled, current (live): disabled
Telemetry server: 10.115.11.56 1234, current (live): 0.0.0.0 30000
```

CLI を使用した URWB テレメトリプロトコルのライブ設定

```
Device# configure telemetry live
Export : enable/disable telemetry export
Server : set telemetry server IP address (and port)
```



- (注) ライブ テレメトリ エクスポートを有効にする前に、サーバーの設定が必要です。

例：

```
Device# configure telemetry live export enable
Error: please configure the telemetry server IP first
```

例（サーバー設定後のテレメトリエクスポート）：

```
Device# configure telemetry live server 10.115.11.56 1234
Device# configure telemetry live export enable
Device# show telemetry config
Telemetry export: enabled, current (live): enabled
Telemetry server: 10.115.11.56 1234, current (live): 10.115.11.56 1234
```



- (注) **live** 修飾子が指定されている場合、このコマンドはすぐに現在の設定に影響します。**live** 修飾子が使用されていない場合は、設定ファイルのみが変更されます。

CLI を使用した GNSS テレメトリプロトコルの設定

GNSS テレメトリを有効にするには、次の CLI コマンドを使用します。

```
Device# configure gnss telemetry enable
```

GNSS テレメトリを無効にするには、次の CLI コマンドを使用します。

```
Device# configure gnss telemetry disable
```

GNSS テレメトリを表示するには、次の CLI コマンドを使用します。

```
Device# show gnss telemetry
```


翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。